



# たはらトピックス

## 「万が一に備える」 正しい情報把握と適切な行動を

**わ**が国に対する外部からの「武力攻撃」や「テロ」などが万が一起きた場合には、皆さんの安全を守るために、国や道府県、市町村が連携して対応します。

こうした事態が、いつ、どこで、どのように発生するのかを事前に予測することは極めて困難です。実際に遭遇した場合に、一人一人が混乱すると、対応の遅れや新たな危険が生じて、被害を拡大させないとも限りません。

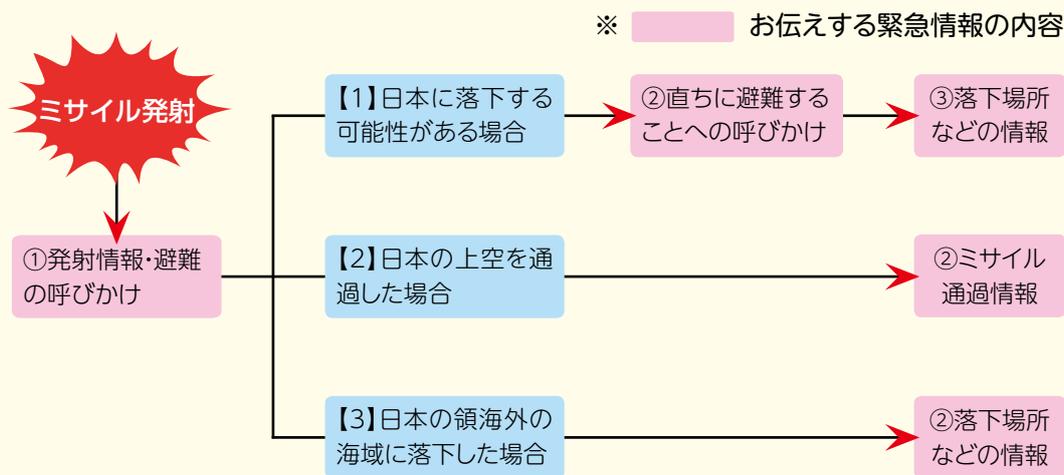
このため、国などからの伝達事項やテレビ、ラジオの情報を十分に聞き、どのように行動すればよいかを判断するための正しい情報を把握することが重要です。

そのためには、日ごろから、こうした事態に遭遇した場合にどのように対応したらいいのか、その際に必要なものは何かなどについて、家族も含めて心得ておくこと、備えておくことが必要です。

▼防災対策課 ☎23-3548

### ◆弾道ミサイルが発射された場合の情報伝達

弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。  
ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラート(全国瞬時情報システム)を活用し、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール、テレビなどにより緊急情報をお知らせします。



⑩1004925

### ◆ミサイル落下時の行動に関するQ&A

**Q** ミサイルは発射から何分くらいで日本に飛んでくるのでしょうか？

**A** 北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合は極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。(平成28年2月には発射から約10分後に約1,600km離れた沖縄県先島諸島上空を通過しています。)

**Q** なぜ頑丈な建物や地下街などへ避難するのですか？

**A** ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内(できれば頑丈な建物)や地下街など(地下街や地下駅舎などの地下施設)への避難が有効だからです。

**Q** 自宅(木造住宅)にいる場合はどうしたらよいのでしょうか？

**A** すぐに避難できる頑丈な建物や地下街などがあればただちにそちらに避難してください。それができない場合はできるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に避難してください。

